

参考資料

参考－１ 居住誘導区域内の人口密度

【策定当初の目標値の検証】

2010年（平成22年）時点の居住誘導区域における人口は、8,629人（平成22年国勢調査より算出）となっています。この値と居住誘導区域面積222.3ha（図上計測値）から、居住誘導区域の人口密度を算出すると38.8人/haとなっています。

国立社会保障・人口問題研究所から示された将来人口の推計結果を踏まえた居住誘導区域内の将来人口及び人口密度は、以下のように推定されます。

表. 居住誘導区域における人口・人口密度の予測

	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	2025年 (令和7年)	2035年 (令和17年)
行政区域人口(人)	29,858	27,034	24,449	21,953	17,452
区域内人口(人)	8,629	7,813	7,066	6,345	5,044
人口密度(人/ha)	38.8	35.1	31.8	28.5	22.7

※行政区域人口（2015年（平成27年）～）：H25 国立社会保障・人口問題研究所推計値
 区域内人口（2015年（平成27年）～）：2010年（平成22年）の区域内人口と行政区域人口の比率が将来も維持すると想定した値

上表に示すとおり、人口減少の進行に伴い、人口密度も低下することとなりますが、本市の立地適正化計画の目標とする居住誘導区域内の人口密度は、この国立社会保障・人口問題研究所から示された将来人口の推計結果に基づく人口密度を確保する（下回らない）こととし、目標年次である2035年（令和17年）の人口密度を22.7人/haとして設定していました。

表. 居住誘導区域における人口・人口密度の実績値

	2020年 (令和2年)
行政区域人口(人)	24,608
区域内人口(人)	7,401
人口密度(人/ha)	33.3

一方、実績では、立地適正化計画における誘導施策の効果もあり、人口7,401人（令和2年国勢調査より算出）、人口密度33.3人/haと策定当初の予測（令和2年：31.8人/ha）よりも人口減少がやや抑えられています。

【新たな目標値の設定】

計画策定以降の居住誘導区域内人口の推移及び今回の見直しにおいて、居住誘導区域面積が 222.3ha から 163.4ha に変更されたことに加え、国立社会保障・人口問題研究所推計値も更新されたことから新たな目標値を設定しました。

表. 居住誘導区域変更後の人口・人口密度の実績値

	2020年 (令和2年)
行政区域人口(人)	24,608
区域内人口(人)	6,523
居住誘導区域面積(ha)	163.4
人口密度(人/ha)	39.9

まず、2020年(令和2年)時点の居住誘導区域における人口は、6,523人(令和2年国勢調査より算出)となっています。この値と変更後の居住誘導区域面積163.4ha(図上計測値)から、居住誘導区域の人口密度は39.9人/haとなっています。

策定当初と同様に、国立社会保障・人口問題研究所から示された将来人口の推計結果を踏まえた居住誘導区域内の将来人口及び人口密度を算出すると、以下のように推定されます。

表. 居住誘導区域における人口・人口密度の予測

	2020年 (令和2年) 実績値	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)	2035年 (令和17年)
行政区域人口(人)	24,608	21,331	18,788	16,454
区域内人口(人)	6,523	5,654	4,980	4,362
人口密度(人/ha)	39.9	34.6	30.5	26.7

※行政区域人口(2025年(令和7年)～): H30 国立社会保障・人口問題研究所推計値
 区域内人口(2025年(令和7年)～): 2020年(令和2年)の区域内人口と行政区域人口の比率が将来も維持すると想定した値

策定当初は、国立社会保障・人口問題研究所から示された将来人口の推計結果に基づく人口密度を確保する（下回らない）こととして目標値を設定していましたが、前述したとおり、居住誘導区域内の人口減少率は策定当初よりもやや抑えられています（行政区画：-9.6%、居住誘導区域内：-8.0%）。そこで、実績値の行政区画の減少率に対する居住誘導区域の減少率が維持されると想定した場合の将来人口及び人口密度を算出すると、以下のように推定されます。

表. 居住誘導区域における人口・人口密度の予測

	2015年 (平成27年) 実績値	2020年 (令和2年) 実績値	2025年 (令和7年)	2030年 (令和12年)	2035年 (令和17年)
行政区画人口(人)	27,216	24,608	21,331	18,788	16,454
減少率(%)		-9.6	-13.3	-11.9	-12.4
区域内人口(人)	7,090	6,523	5,798	5,221	4,680
減少率(%)		-8.0	-11.1	-9.9	-10.4
人口密度(人/ha)	43.4	39.9	35.5	32.0	28.6

※行政区画人口（2025年（令和7年）～）：H30 国立社会保障・人口問題研究所推計値
 区域内人口（2025年（令和7年）～）：2015年（平成27年）から2020年（令和2年）の行政区画内人口の減少率に対する区域内人口の減少率の比率が将来も維持すると想定した値

一方で、第2次輪島市総合計画（後期基本計画）における目標人口（2040年で行政区画人口 17,173 人）が達成された場合、2035年（令和17年）の居住誘導区域の人口密度は 30.4 人/ha になると推定されます。そこで、今回の立地適正化計画改定においては、総合計画の人口密度を目指しつつ、実績値を考慮した将来人口の推計に基づき、人口密度 28.6 人/ha を目標値として設定します。

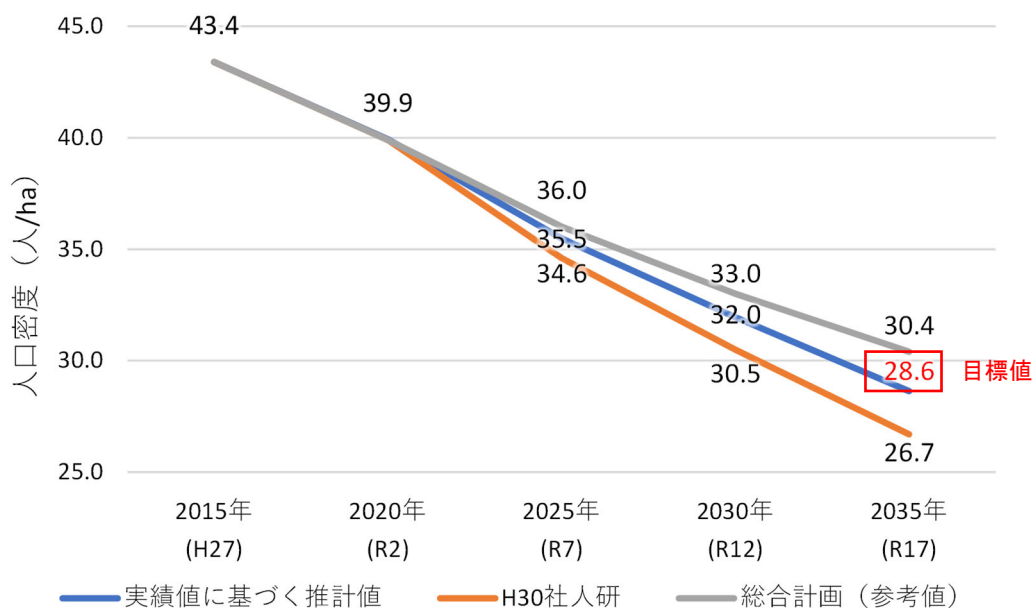


図. 人口密度の将来予測

【総合戦略（策定当初）の目標人口に基づく参考値について】

本市は平成 27 年に「輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、将来の目標人口を 2020 年（令和 2 年）で 26,202 人、2040 年（令和 22 年）で 25,310 人と設定していました。この実現に向けて各種施策・事業を推進し、目標人口が達成された場合における目標年次である 2035 年（令和 17 年）の居住誘導区域の人口密度を 32.6 人/ha と推定し、目標値の参考としていました。

表. 居住誘導区域における人口・人口密度の予測（目標値）

	2010年 (平成 22 年)	2015年 (平成 27 年)	2025年 (令和 7 年)	2030年 (令和 12 年)	2035年 (令和 17 年)
行政区域人口 (人)	29,858	27,143	25,457	25,134	25,111
国立社会保障・人口問題研究所推計値との差異 (人)	—	+109	+3,504	+5,517	+7,659
区域内人口 (人)	8,629	7,844	7,357	7,263	7,257
人口密度 (人/ha)	38.8	35.3	33.1	32.7	32.6

※行政区域人口（2015 年（平成 27 年）～）：輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略及び輪島市人口ビジョン目標値

区域内人口（2015 年（平成 27 年）～）：2010 年（平成 22 年）の区域内人口と行政区域人口の比率が将来も維持すると想定した値

【総合計画の目標人口に基づく参考値について】

本市は「輪島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本的な考え方を踏襲しつつ、令和 4 年に「第 2 次 輪島市総合計画（後期基本計画）」を策定し、将来の目標人口を 2040 年（令和 22 年）で 17,173 人と設定しています。この目標人口の更新を踏まえ、目標とする人口密度の参考値を見直し、下表に示すとおり、目標年次である 2035 年（令和 17 年）の人口密度は 30.4 人/ha と推定されます。

表. 居住誘導区域における人口・人口密度の予測（目標値）の見直し

	2015年 (平成 27 年)	2020年 (令和 2 年)	2025年 (令和 7 年)	2030年 (令和 12 年)	2035年 (令和 17 年)
行政区域人口 (人)	27,216	24,608	22,159	20,342	18,732
国立社会保障・人口問題研究所推計値との差異 (人)	—	+483	+828	+1,554	+2,278
区域内人口 (人)	7,090	6,523	5,874	5,392	4,965
人口密度 (人/ha)	43.4	39.9	35.9	33.0	30.4

※行政区域人口（2025 年（令和 7 年）～）：第 2 次 輪島市総合計画（後期基本計画）目標値

区域内人口（2025 年（令和 7 年）～）：2020 年（令和 2 年）の区域内人口と行政区域人口の比率が将来も維持すると想定した値

8-2 目標値の設定

目標の達成状況を定量的・客観的に評価するための数値指標の目標値を設定します。

各数値指標は毎年の継続的なモニタリングにより収集・分析し、「輪島市地域公共交通会議」で評価を行います。

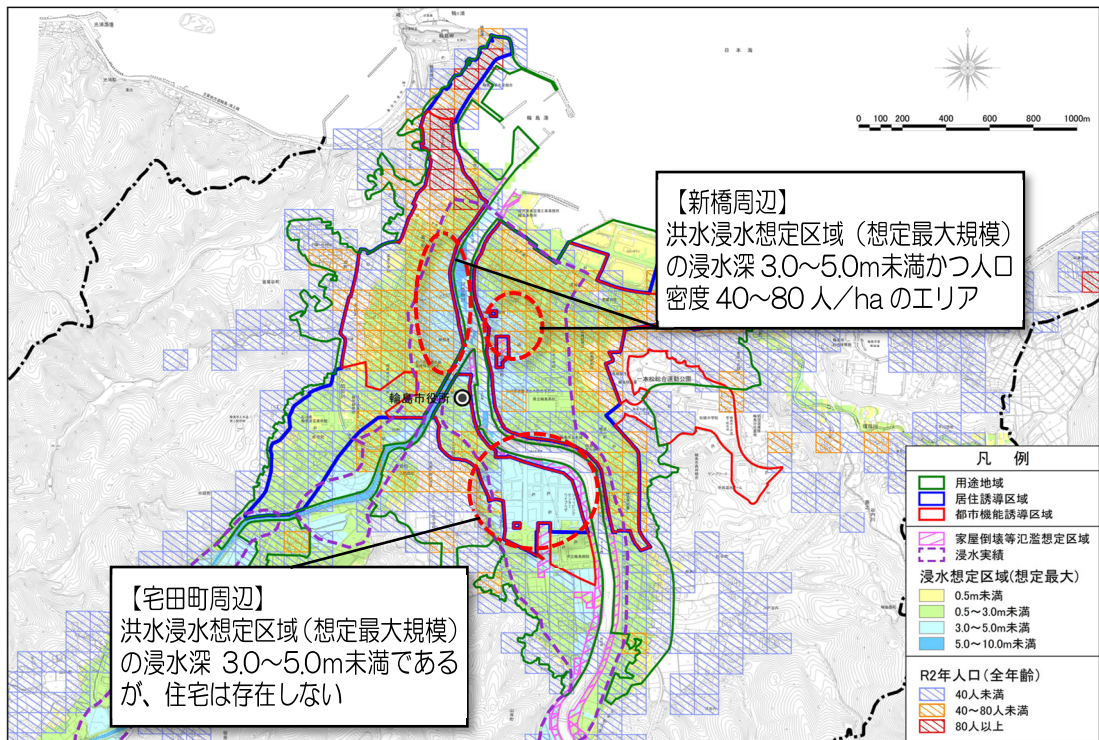
①公共交通の利用者数【対応する目標番号 1,2,3,4,5】

各公共交通の利用者数は各種取り組みにより、コロナ禍前（令和元年度）の水準への回復を目指します。

愛のりバスは令和2年に新規路線（久川、七浦コース）が開設されているため、各種取り組みにより令和3年の水準の維持を目指します。

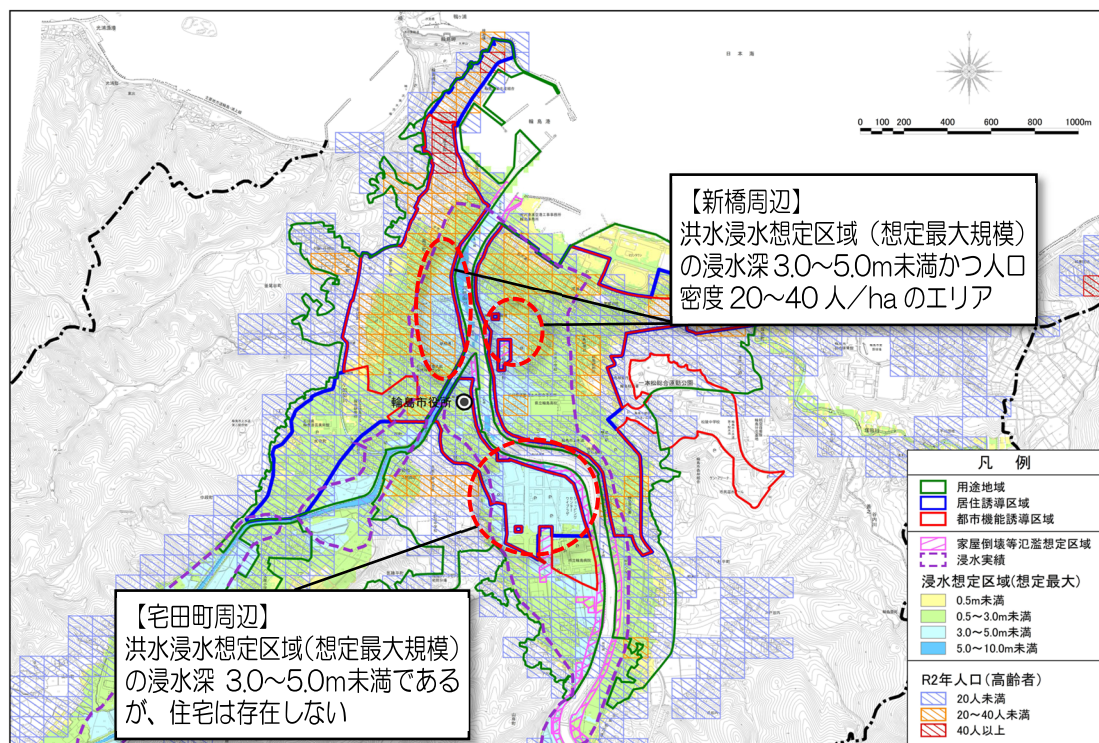
種別 (路線名)	データ 取得方法	現況値 (年度)	R10年度 (中間年) 目標値	R15年度 (最終年) 目標値
幹線系統				
路線バス (輪島線、穴水線、穴水輪島線、町野線) 平日 上下線 合計	事業者保有 乗降データ により毎年 計測	316人/日 (R4)	365人/日	400人/日
路線バス (輪島線、穴水線、穴水輪島線、町野線) 土日 上下線 合計		218人/日 (R4)	231人/日	240人/日
特急バス (輪島特急線) 上下線 合計		65,041人/年 (R3)	87,169 人/年	101,000 人/年
離島航路 (へぐら航路)、島民十島民以外 合計		5,064人/年 (R3)	7,363人/年	8,800人/年
支線系統				
のらんけ+ (プラス)	事業者保有 乗降データ により毎年 計測	5,643人/年 (R6.8~R7.3)	8,460人/年 (R10)	8,460人/年 (R15)
おでかけバス (4コース合計)		3,844人/年 (R3)	4,272人/年	4,540人/年
愛のりバス (10コース合計)、一般利用者のみ		11,958人/年 (R3)	11,959 人/年	11,960 人/年
補助・補完交通				
福祉有償バス (市内全域)	事業者保有 乗降データ により毎年 計測	1,220人/年 (R3)	1,386人/年	1,490人/年

(1) 洪水浸水想定区域（想定最大規模）×人口分布（全年齢）



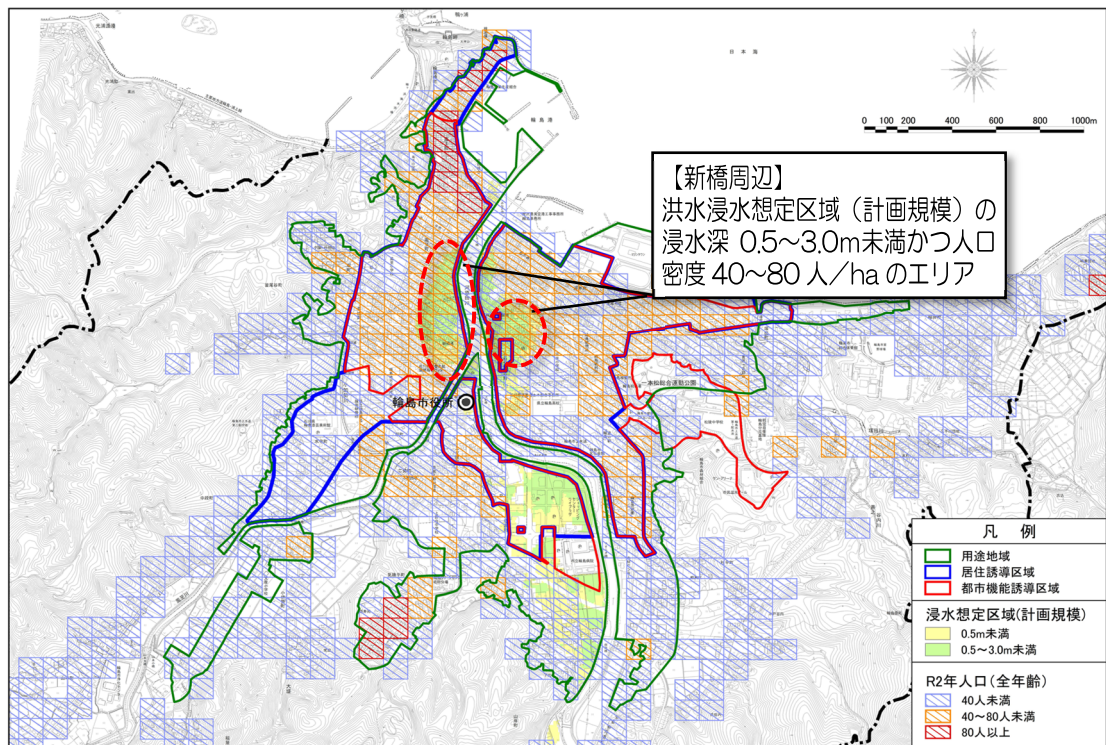
資料) 石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ (R7.5 公表)

(2) 洪水浸水想定区域（想定最大規模）×人口分布（高齢者）



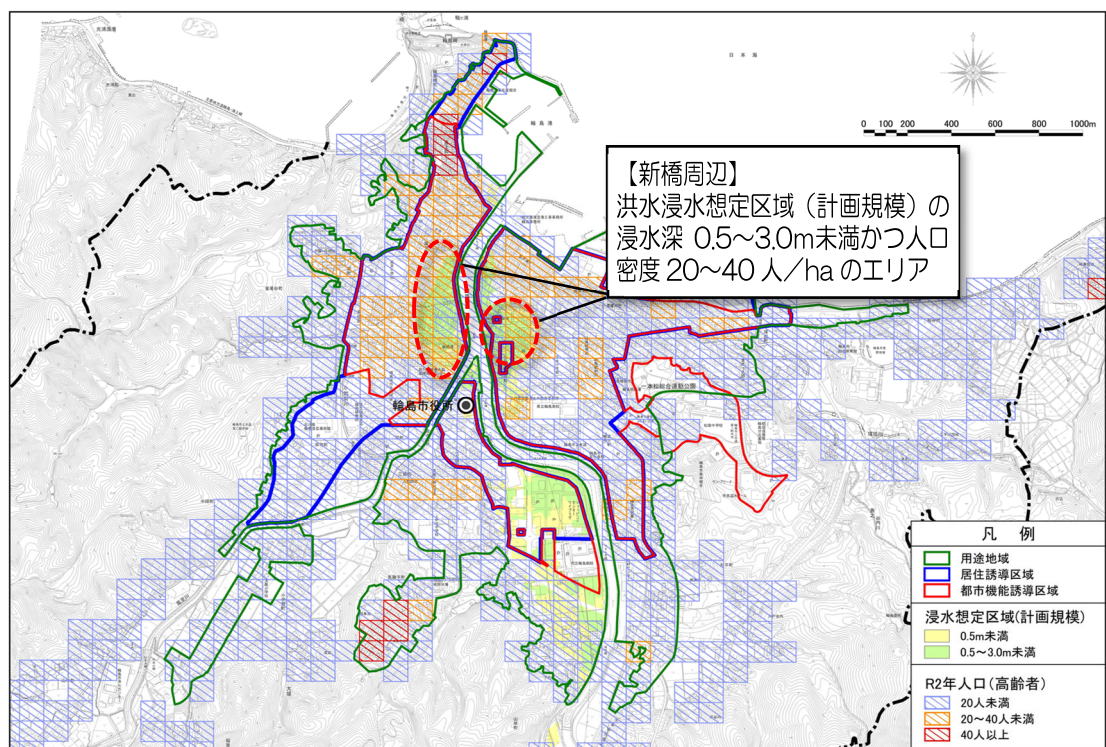
資料) 石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ (R7.5 公表)

(3) 洪水浸水想定区域（計画規模）×人口分布（全年齢）



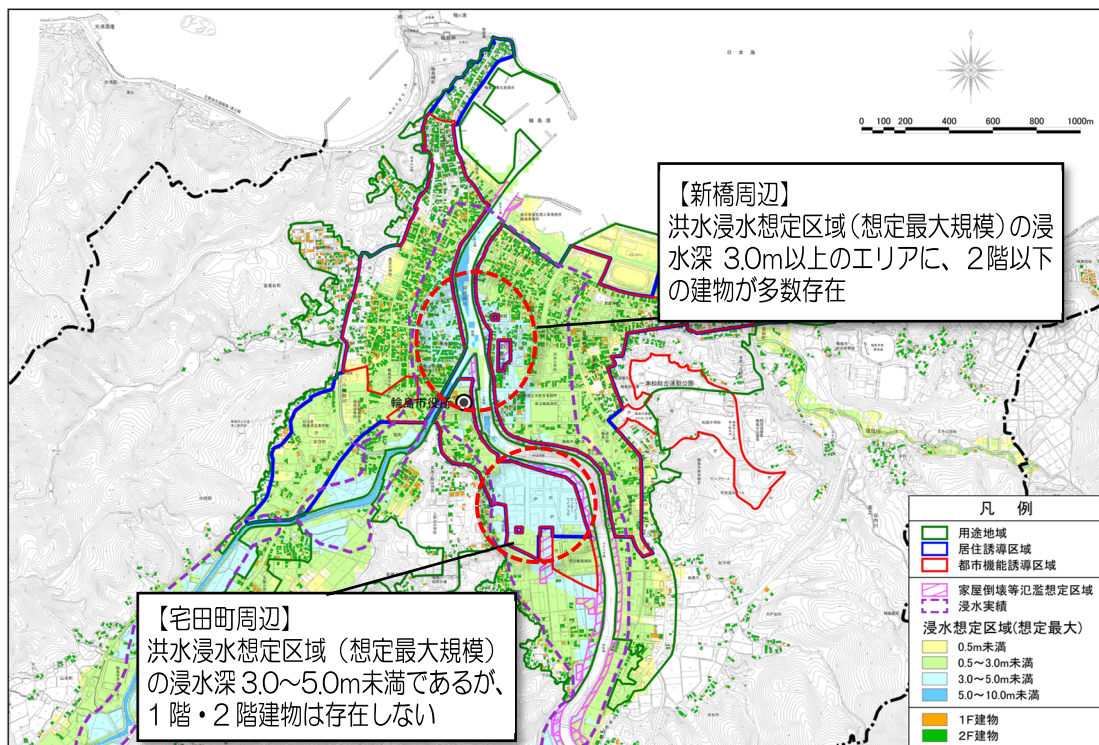
資料) 石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ (R3.4公表)

(4) 洪水浸水想定区域（計画規模）×人口分布（高齢者）



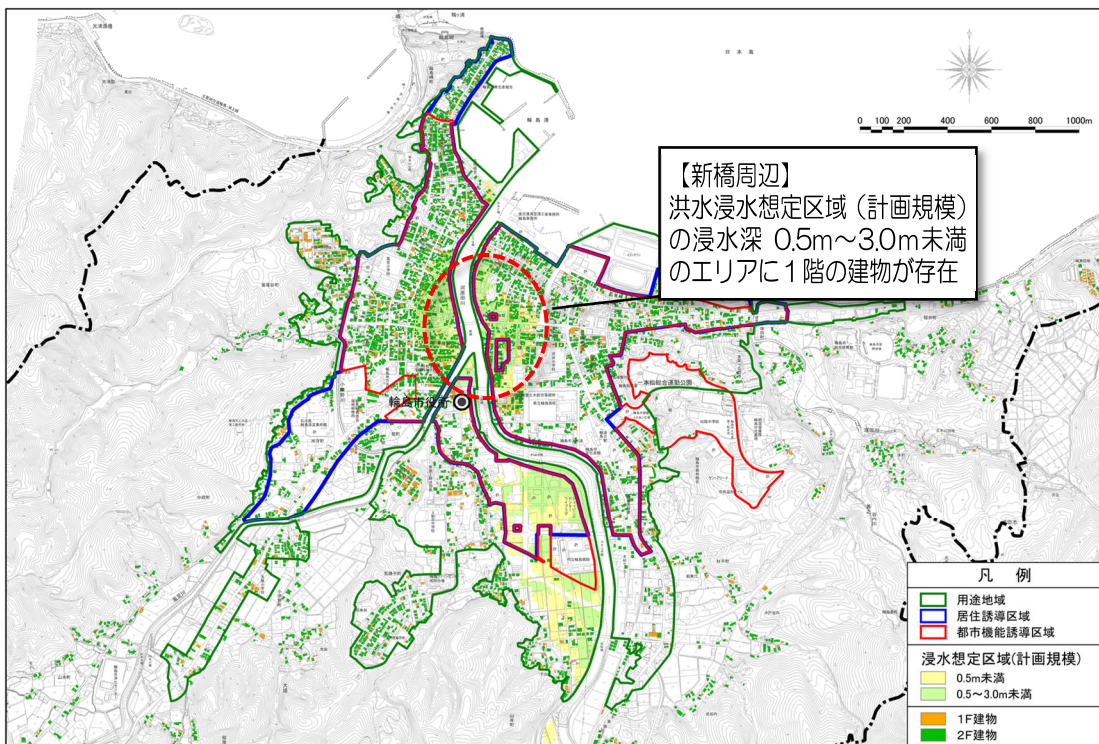
資料) 石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ (R3.4公表)

(5) 洪水浸水想定区域（想定最大規模）×建物分布（1階・2階住宅）



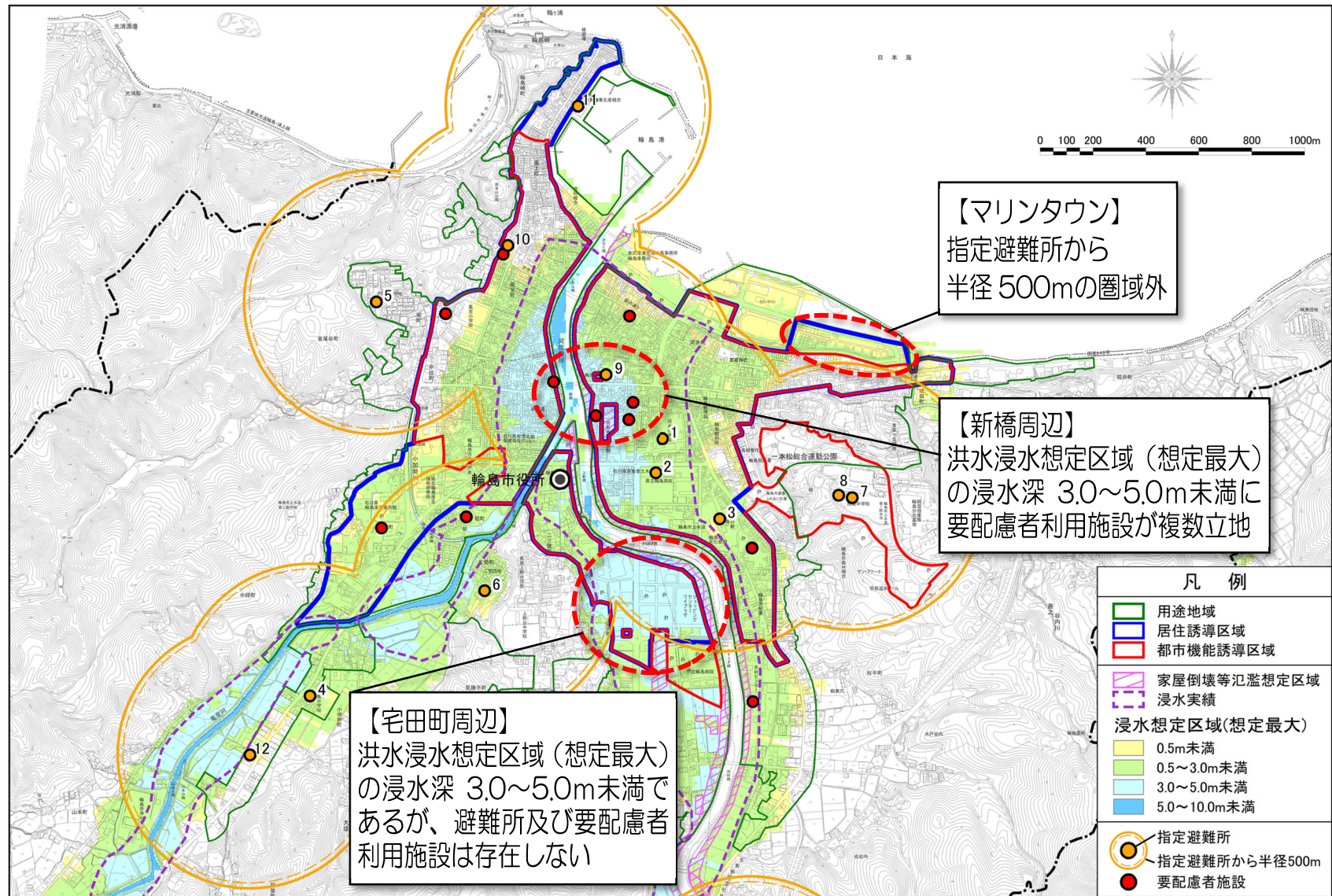
資料) 石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ (R7.5 公表)

(6) 洪水浸水想定区域（計画規模）×建物分布（1階・2階住宅）



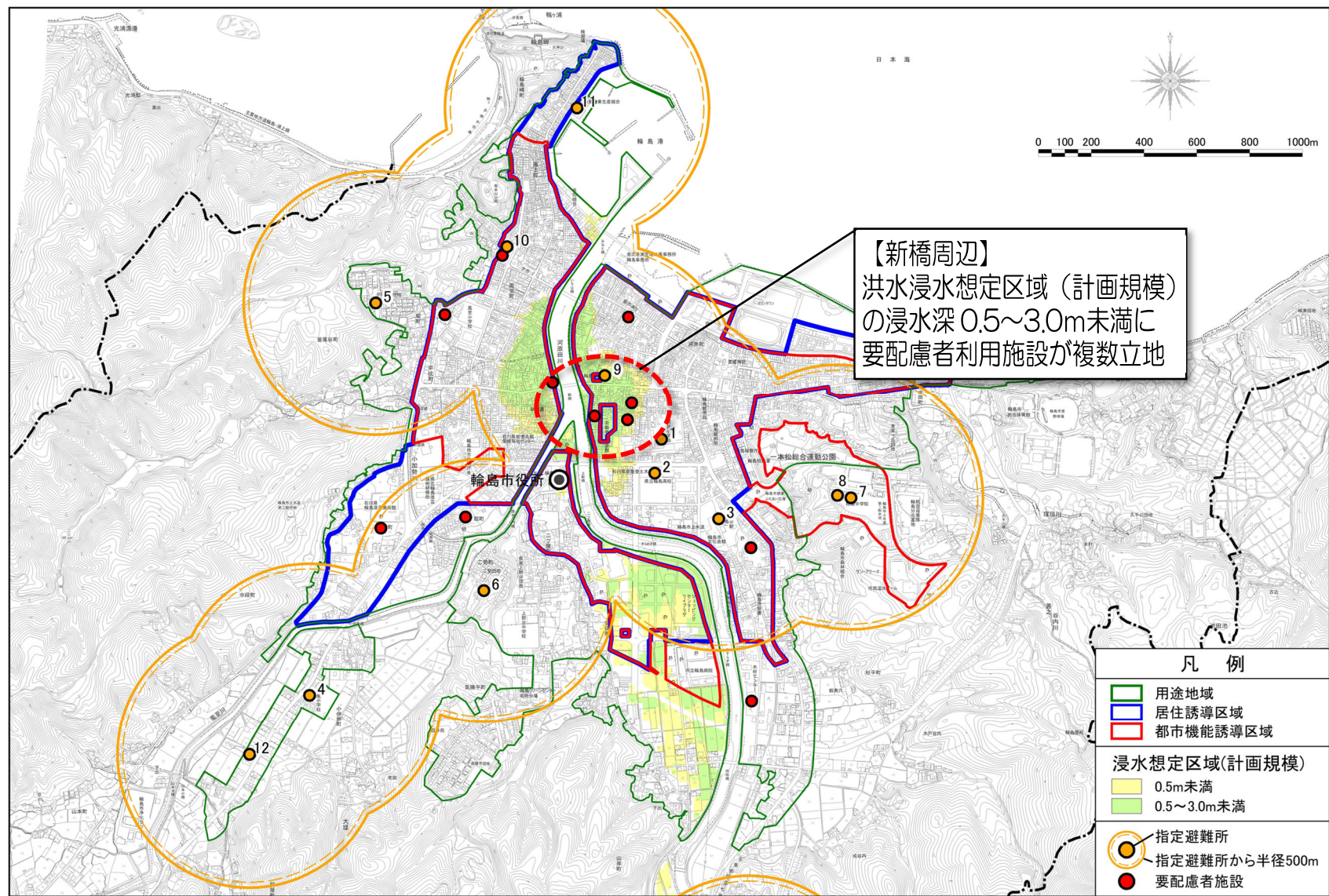
資料) 石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ (R3.4 公表)

(7) 洪水浸水想定区域（想定最大規模）×避難所及び圏域、要配慮者利用施設



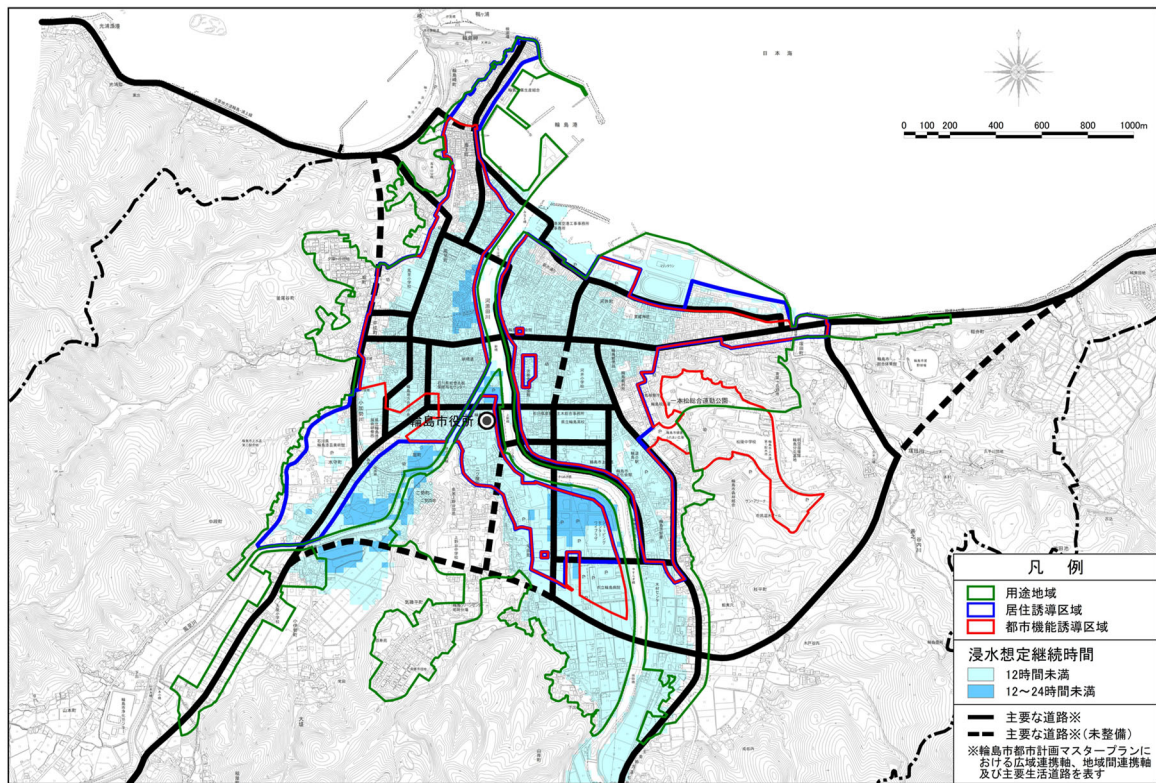
資料) 石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ (R7.5公表)

(8) 洪水浸水想定区域(計画規模) × 避難所及び圏域、要配慮者利用施設



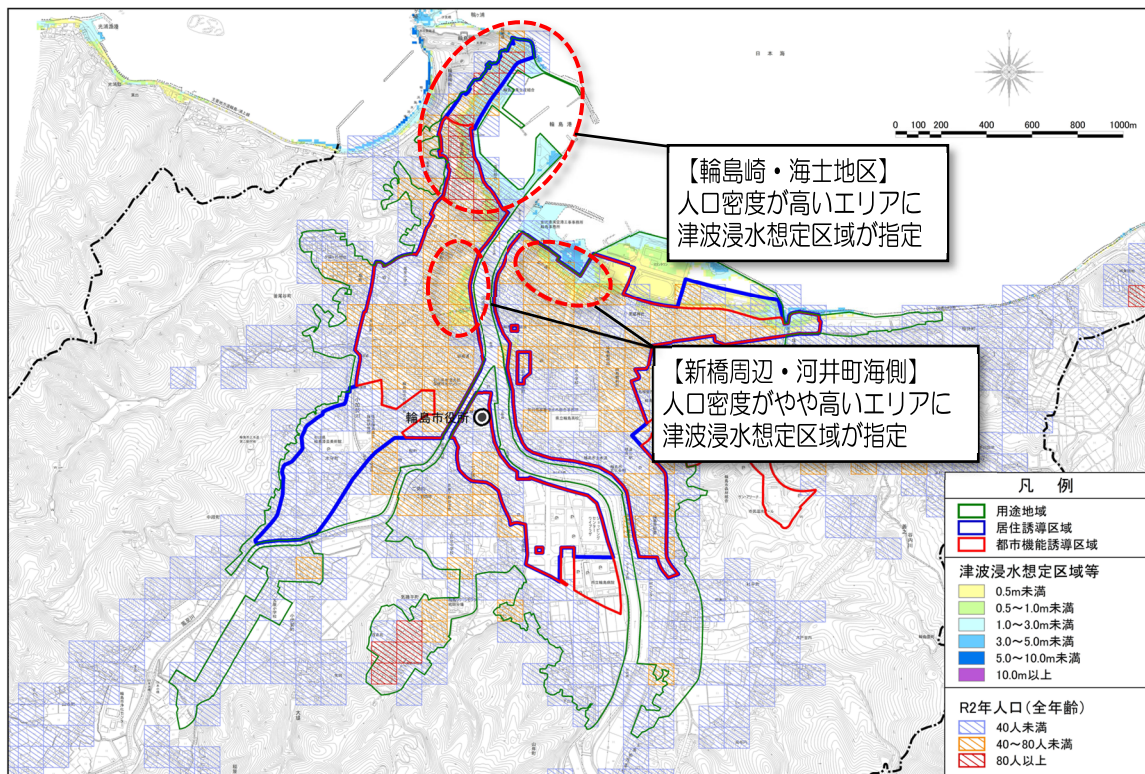
資料) 石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ (R3.4公表)

(9) 洪水浸水想定区域（浸水継続時間）×道路網



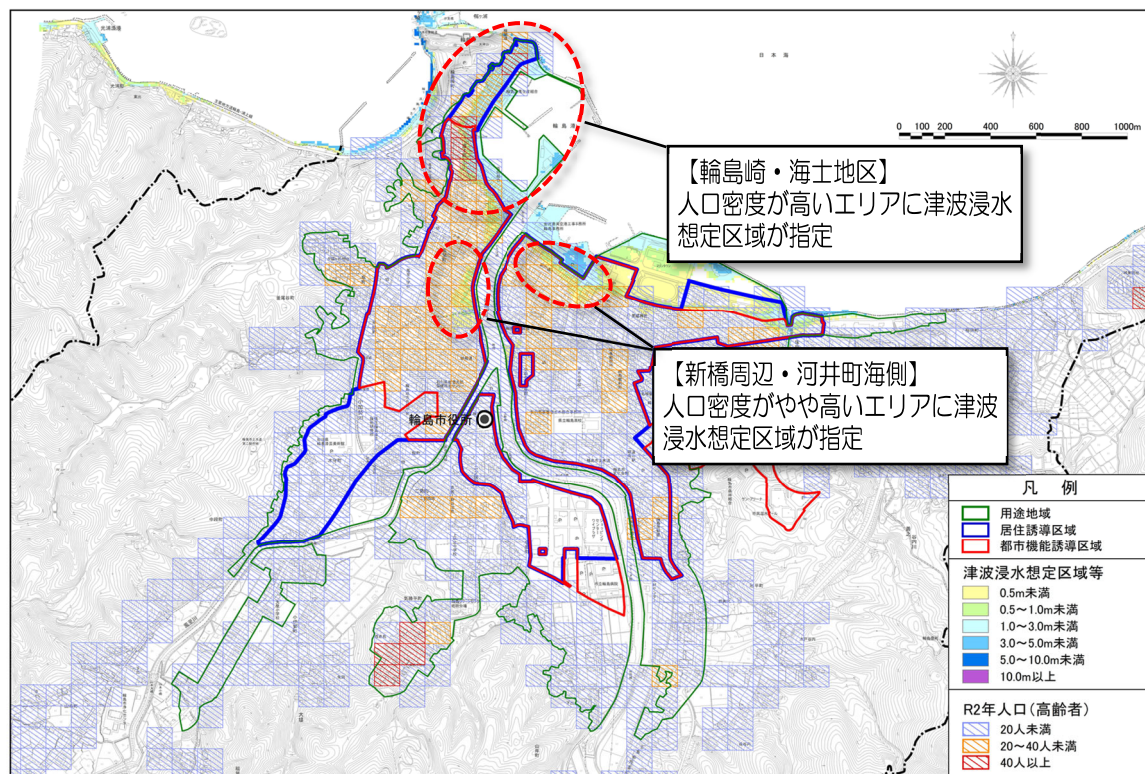
資料) 石川県洪水浸水想定区域図オープンデータ (R3.4 公表)

(10) 津波浸水想定区域等 × 人口分布（全年齢）



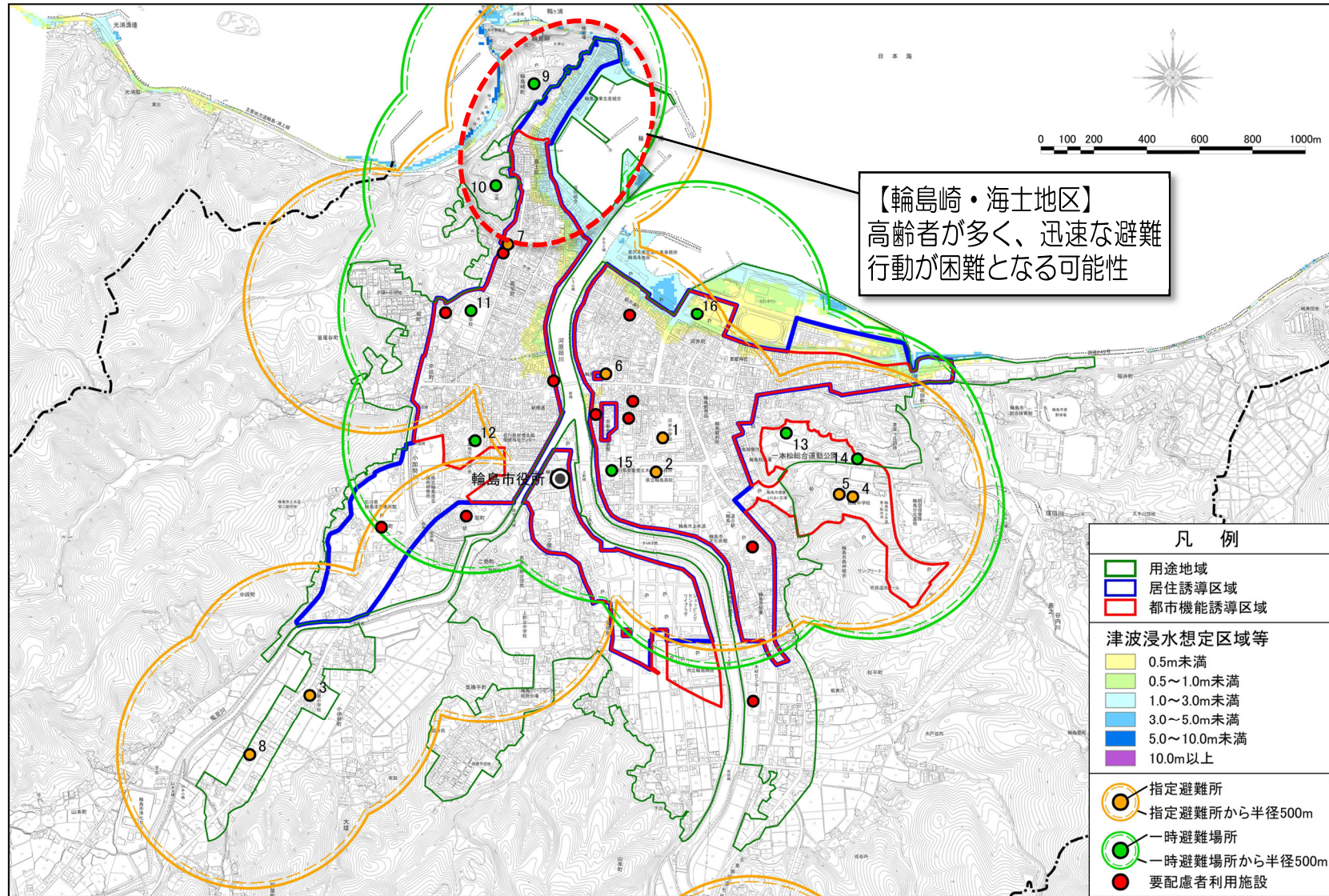
資料）国土数値情報（H29 石川県津波浸水想定区域）

(11) 津波浸水想定区域等 × 人口分布（高齢者）



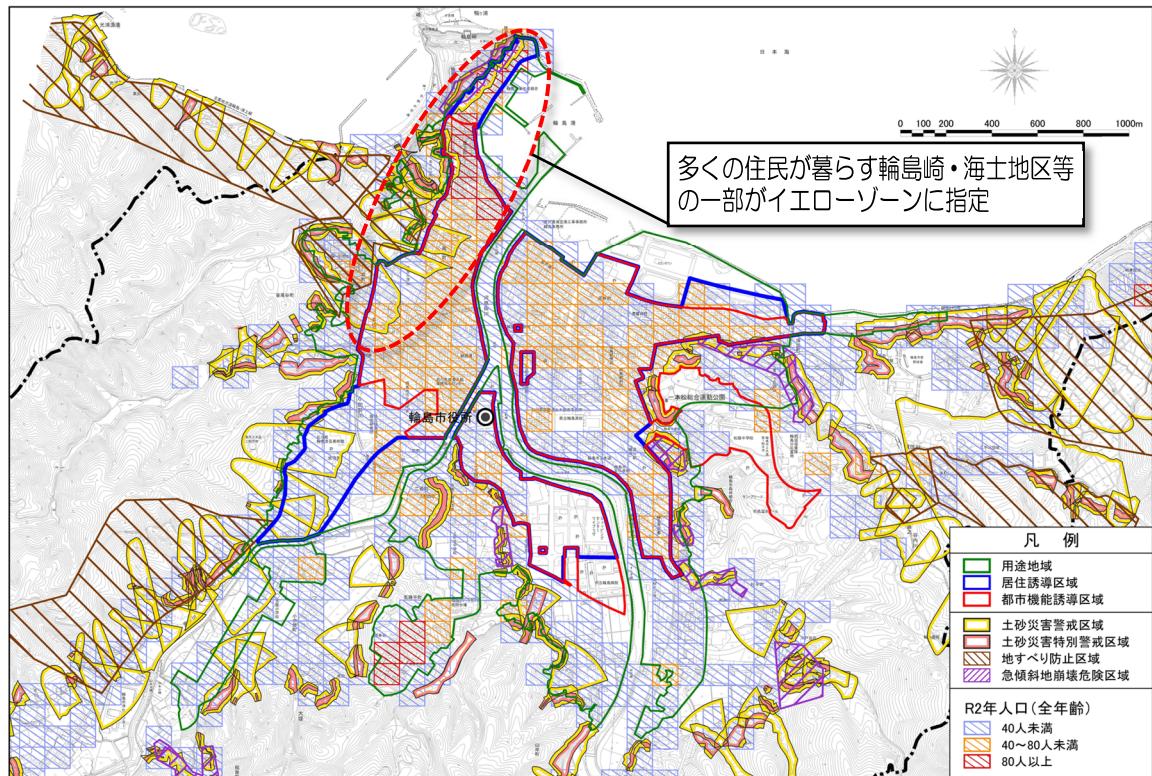
資料）国土数値情報（H29 石川県津波浸水想定区域）

(12) 津波浸水想定区域等 × 避難所及び圏域、要配慮者利用施設



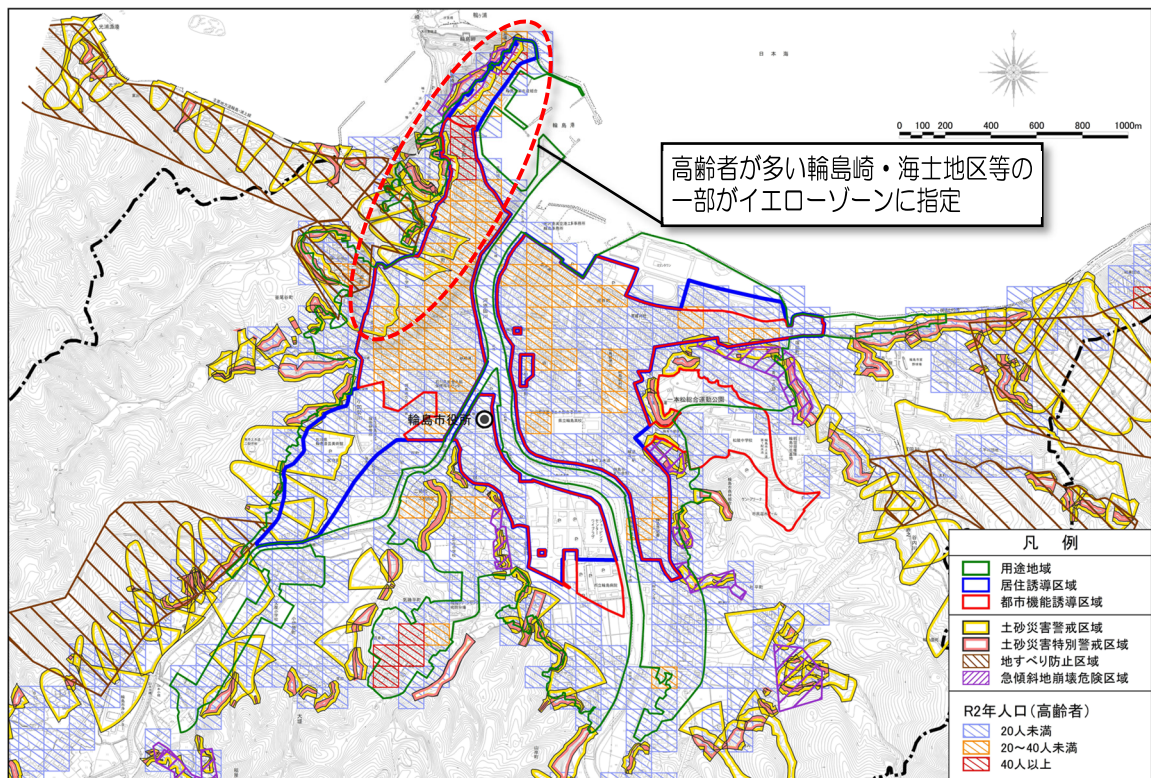
資料) 国土数値情報 (H29 石川県津波浸水想定区域)

(13) 土砂災害（特別）警戒区域×人口分布（全年齢）



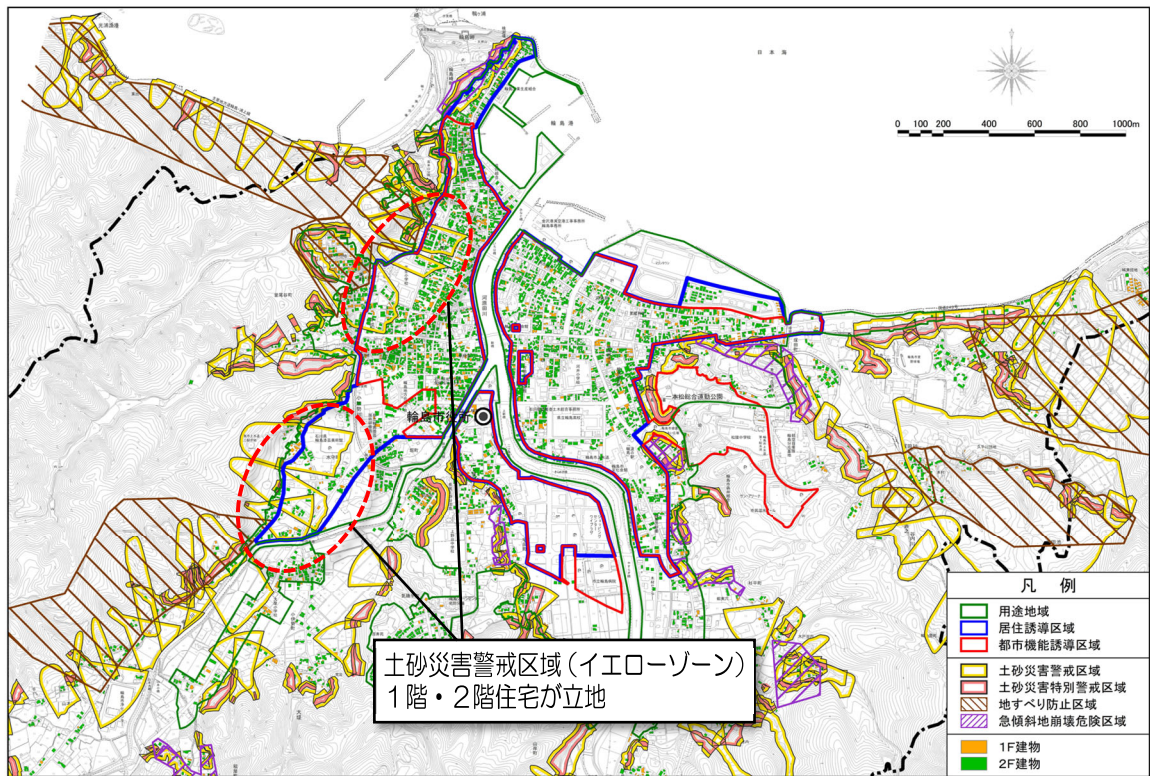
資料) 輪島市土砂災害（特別）警戒区域（R7.5公表）

(14) 土砂災害（特別）警戒区域×人口分布（高齢者）



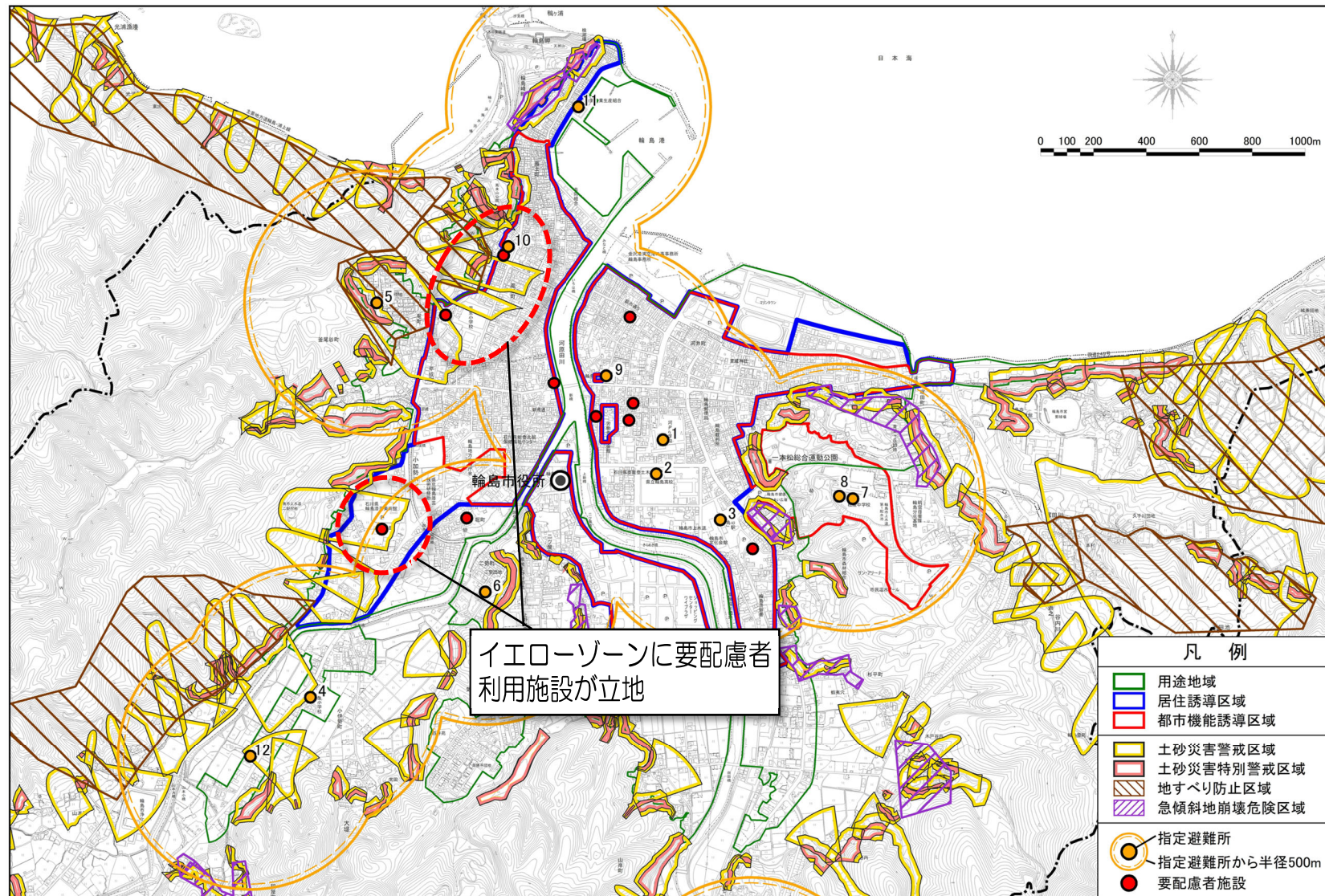
資料) 輪島市土砂災害（特別）警戒区域（R7.5公表）

(15) 土砂災害（特別）警戒区域×建物分布（1・2階住宅）



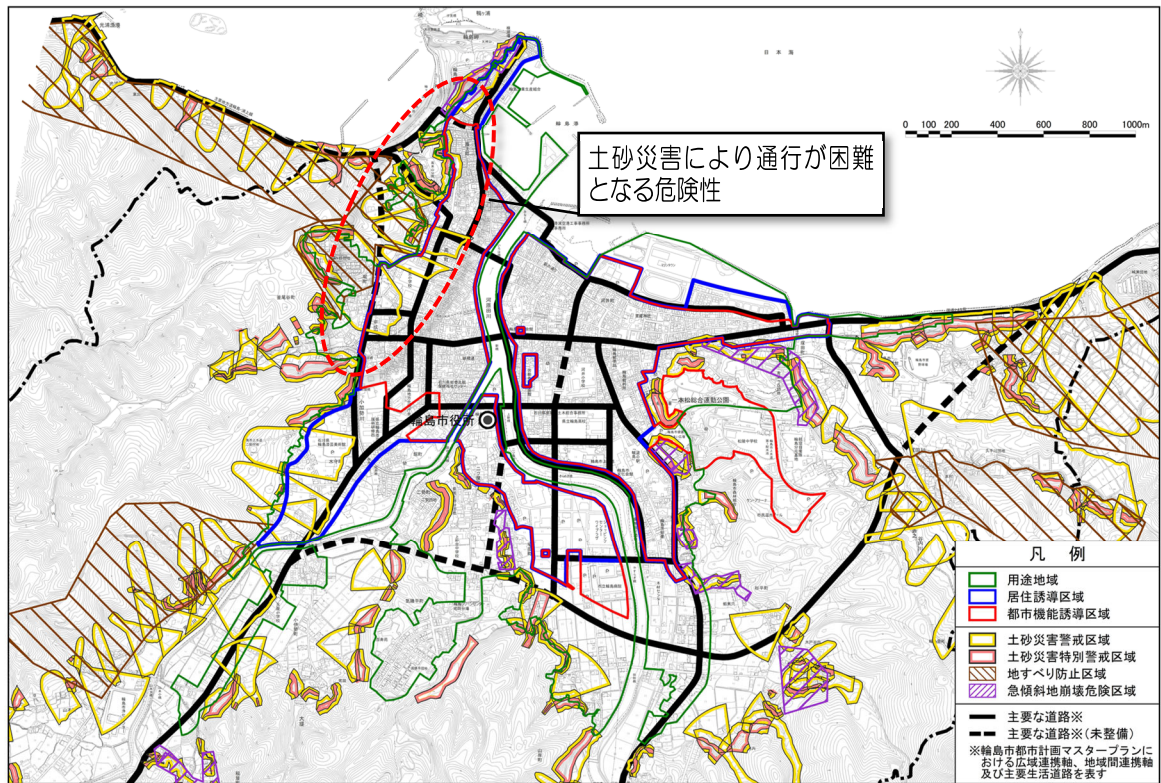
資料) 輪島市土砂災害（特別）警戒区域（R7.5公表）

(16) 土砂災害（特別）警戒区域×避難所及び圏域、要配慮者利用施設



資料) 輪島市土砂災害（特別）警戒区域（R7.5公表）

(17) 土砂災害（特別）警戒区域×道路網



資料) 輪島市土砂災害（特別）警戒区域 (R7.5 公表)